

2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 サカティンクス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4633 URL <https://www.inx.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 上野 吉昭
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 菅原 大輔 TEL 06-6447-5823
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	168,634	5.5	8,525	160.7	10,116	173.7	6,637	114.8
2022年12月期第3四半期	159,849	19.6	3,270	△47.7	3,696	△48.2	3,090	△35.5

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 17,412百万円 (13.5%) 2022年12月期第3四半期 15,341百万円 (53.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	132.65	-
2022年12月期第3四半期	56.98	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	197,271	108,576	51.1
2022年12月期	177,403	92,952	48.6

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 100,812百万円 2022年12月期 86,272百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	-	15.00	-	15.00	30.00
2023年12月期	-	15.00	-	-	-
2023年12月期(予想)	-	-	-	16.00	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	226,000	4.9	10,000	142.4	12,100	143.9	7,900	73.4	157.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	54,172,361株	2022年12月期	54,172,361株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	4,127,544株	2022年12月期	4,143,541株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	50,038,419株	2022年12月期3Q	54,234,985株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 四半期決算補足説明資料は、T D n e t で本日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、新型コロナウイルス感染症による経済活動の落ち込みから持ち直しの動きが続き、原油をはじめとする資源価格も安定するなど世界的なインフレに鈍化の動きが続いたものの、ウクライナ問題の長期化や金融引き締め継続により欧米において景気後退への懸念が続き、また中国においても個人消費の停滞や不動産市場の悪化などにより景気回復への遅れが懸念される状況で推移しました。

このような状況のなかで、当社グループは2030年を見据えた長期ビジョン『SAKATA INX VISION 2030』を実現させるため、基盤構築フェーズである『中期経営計画2023 (CCC-I)』の最終年度として、環境配慮型製品を中心としたパッケージ用インキと機能性材料の拡販とともに、新規事業の確立に向けた基盤作りを進めました。また、印刷インキの主要原材料につきましては、海外においては前年同期に比べ、価格面で安定した状況にあるものの、国内では依然として高い状態が続いております。このため、製品の安定供給を最優先として、グループ会社間の連携強化やグローバル調達などによるサプライチェーンの安定化に取り組むとともに販売価格の改定に取り組みました。機能性材料事業では、インクジェットインキをはじめとして、カラーフィルター用顔料分散液、トナーなどの従来製品の拡販に加え、社会トレンドを捉えた高付加価値製品の開発に取り組みました。

売上高は、欧米において市況の悪化による需要減の影響を受けたものの、アジアにおいて販売が好調に推移するとともに、販売価格の改定が進んだことや機能性材料の拡販が進んだことに加え、円安による為替換算の影響を受けたことなどから、1,686億3千4百万円（前年同期比5.5%増加）となりました。

利益面では、日本においては原材料や副資材の価格が高止まりしているものの、海外においてはこれらの価格が落ち着きをみせるなかで、販売価格の改定効果やインキコストの削減により収益性の改善が続いたことなどから、営業利益は85億2千5百万円（前年同期比160.7%増加）となりました。経常利益は101億1千6百万円（前年同期比173.7%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、66億3千7百万円（前年同期比114.8%増加）となりました。

(参考) USドルの期中平均為替レート

	第1四半期 連結会計期間	第2四半期 連結会計期間	第3四半期 連結会計期間	第3四半期 連結累計期間
2023年12月期	132.34円	137.37円	144.62円	138.11円
2022年12月期	116.20円	129.57円	138.37円	128.05円

(注) 第3四半期連結累計期間の期中平均為替レートは、1月～9月の単純平均レートを記載しております。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(単位：百万円)

	売上高					営業利益又は営業損失(△)			
	前期	当期	増減額	増減率	(※)実質	前期	当期	増減額	増減率
印刷インキ・ 機材(日本)	37,909	38,328	419	1.1%	1.1%	342	324	△17	△5.2%
印刷インキ (アジア)	35,233	38,017	2,784	7.9%	3.7%	987	2,931	1,943	196.8%
印刷インキ (米州)	55,433	58,580	3,146	5.7%	△2.2%	807	3,571	2,764	342.4%
印刷インキ (欧州)	14,403	14,723	319	2.2%	△6.7%	△341	△496	△155	—
機能性材料	11,437	12,352	915	8.0%	4.1%	1,169	1,404	234	20.1%
報告セグメント計	154,417	162,002	7,584	4.9%	△0.0%	2,965	7,735	4,770	160.9%
その他	10,595	11,072	477	4.5%	4.5%	258	349	91	35.2%
調整額	△5,163	△4,440	722	—	—	46	439	393	—
合計	159,849	168,634	8,785	5.5%	0.8%	3,270	8,525	5,254	160.7%

(※)実質増減率：海外連結子会社の為替換算の影響を除いた増減率

印刷インキ・機材(日本)

新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行により社会経済活動の正常化が進んだことに加え、水際対策の終了により外国人観光客の増加が続きました。一方で、日用品、食品、飲料など多くのアイテムで値上げの影響による買い控えの動きが長期化していることもあり、パッケージ関連ではグラビアインキ、フレキソインキともに全体としてやや低調に推移しました。印刷情報関連では、デジタル化の影響など市場の構造的な縮小や、広告需要の低迷が続いていることなどから、新聞インキ、オフセットインキともに低調に推移しました。このような状況ではあるものの、販売価格の改定効果もあり、印刷インキ全体では前年同期を上回りました。機材につきましては、印刷製版用材料、機械販売ともに前年同期を上回りました。これらの結果、売上高は383億2千8百万円(前年同期比1.1%増加)となりました。

利益面では、販売価格の改定を進めてはいるものの、原材料価格が高止まりしているなか、印刷情報関連の印刷インキの販売が低調に推移したことなどから、営業利益は3億2千4百万円(前年同期比5.2%減少)となりました。

印刷インキ(アジア)

主力であるパッケージ関連のグラビアインキは、インドネシア、ベトナム、タイといった東南アジアやインドで販売が好調なことに加え、本格稼働したバングラデシュでも順調に拡販が続きました。印刷情報関連では、インドでの販売が堅調であることに加え、中国でも第2四半期以降は堅調に推移しました。売上高は、販売数量が増加したことや円安による為替換算の影響を受けたことなどから380億1千7百万円(前年同期比7.9%増加)となりました。

利益面では、全般的に経費が増加したものの、販売数量が増加したことに加え、原材料価格も前年同期を下回る水準で推移していることなどにより、営業利益は29億3千1百万円(前年同期比196.8%増加)となりました。

印刷インキ（米州）

金融引き締めによる市況の悪化の影響が長期化しており販売数量に関しては全般に低調に推移しました。主力のパッケージ関連では、顧客での需要の低迷が続いており、フレキシインキ及びグラビアインキとも販売の落ち込みからの回復は緩やかなものとなっております。メタルインキは環境負荷の観点からアルミ缶に対する需要が高まっているという背景はあるものの、販売は伸び悩みました。印刷情報関連であるオフセットインキは、市場の構造的な縮小もあり低調に推移しました。売上高は、販売数量は伸び悩んだものの、販売価格の改定が大きく進んだことに加え、円安による為替換算の影響を受けたことなどから、585億8千万円（前年同期比5.7%増加）となりました。

利益面では、人件費は増加したものの、販売価格の改定効果が大きく寄与したことに加え、原材料価格も前年同期を下回る水準で推移するなかでインキコストの削減を推し進めたことなどにより、営業利益は35億7千1百万円（前年同期比342.4%増加）となりました。

印刷インキ（欧州）

パッケージ関連を中心として拡販に取り組んだものの、欧州経済の低迷により顧客での需要減が続いていることもあり販売数量に関しては低調に推移しました。売上高は、販売価格の改定が進んだことに加え、円安による為替換算の影響を受けたことなどから、147億2千3百万円（前年同期比2.2%増加）となりました。

利益面では、販売価格の改定効果が寄与したものの、販売数量が低調に推移したことや、一部で原材料高の影響が残っていることに加え、人件費などの経費が増加した影響もあり4億9千6百万円の営業損失（前年同期は3億4千1百万円の営業損失）となりました。

機能性材料

インクジェットインキは全体としては堅調に推移し前年同期を上回りました。カラーフィルター用顔料分散液はパネルディスプレイの市況の改善が続き、前年同期を上回りました。トナーは、在庫調整の動きが長引いていることなどから前年同期を下回りました。これらの結果に加え、円安による為替換算の影響を受けたことなどから、売上高は123億5千2百万円（前年同期比8.0%増加）となりました。

利益面では、デジタル印刷材料の販売が増加したことなどにより、営業利益は14億4百万円（前年同期比20.1%増加）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、棚卸資産は減少したものの、現金及び預金が増加したこと、売上高の増加に伴い売上債権が増加したこと、株価の上昇に伴う時価評価や持分法により投資有価証券が増加したこと、基幹システムの更新に関連して無形固定資産が増加したことに加え、円安による為替換算の影響を受けたことなどから、前連結会計年度末比198億6千7百万円（11.2%）増加の1,972億7千1百万円となりました。

負債は、円安による為替換算の影響を受けたことなどから、前連結会計年度末比42億4千3百万円（5.0%）増加の886億9千4百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加に加え、その他の包括利益累計額が増加したことなどから、前連結会計年度末比156億2千3百万円（16.8%）増加の1,085億7千6百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月10日に公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,120	16,480
受取手形及び売掛金	53,862	59,444
商品及び製品	13,164	16,535
仕掛品	1,514	1,556
原材料及び貯蔵品	18,669	14,425
その他	2,394	3,549
貸倒引当金	△575	△649
流動資産合計	101,150	111,341
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,858	20,266
機械装置及び運搬具(純額)	10,391	10,773
土地	9,816	10,071
リース資産(純額)	231	228
建設仮勘定	3,814	5,145
その他(純額)	4,273	4,441
有形固定資産合計	48,385	50,926
無形固定資産		
のれん	441	425
その他	1,901	3,565
無形固定資産合計	2,342	3,990
投資その他の資産		
投資有価証券	23,942	29,210
その他	2,592	2,884
貸倒引当金	△1,010	△1,083
投資その他の資産合計	25,524	31,011
固定資産合計	76,252	85,929
資産合計	177,403	197,271

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,121	24,409
電子記録債務	14,316	13,926
短期借入金	11,046	9,183
1年内返済予定の長期借入金	1,979	3,583
未払費用	4,656	4,991
未払法人税等	524	621
賞与引当金	547	958
その他	2,951	3,318
流動負債合計	59,143	60,994
固定負債		
社債	1,000	1,000
長期借入金	11,244	12,131
退職給付に係る負債	4,869	4,987
資産除去債務	74	75
その他	8,119	9,505
固定負債合計	25,307	27,700
負債合計	84,450	88,694
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,472	7,472
資本剰余金	5,672	5,673
利益剰余金	71,729	76,910
自己株式	△4,015	△3,999
株主資本合計	80,859	86,056
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,111	2,147
繰延ヘッジ損益	△0	9
為替換算調整勘定	5,010	13,203
退職給付に係る調整累計額	△709	△605
その他の包括利益累計額合計	5,412	14,755
非支配株主持分	6,680	7,764
純資産合計	92,952	108,576
負債純資産合計	177,403	197,271

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	159,849	168,634
売上原価	130,677	132,023
売上総利益	29,171	36,610
販売費及び一般管理費	25,901	28,085
営業利益	3,270	8,525
営業外収益		
受取利息	40	137
受取配当金	179	78
持分法による投資利益	730	1,357
為替差益	—	296
その他	353	428
営業外収益合計	1,303	2,297
営業外費用		
支払利息	352	587
為替差損	481	—
その他	43	118
営業外費用合計	877	706
経常利益	3,696	10,116
特別利益		
投資有価証券売却益	1,442	—
事業譲渡益	—	415
特別利益合計	1,442	415
特別損失		
固定資産除却損	30	—
関係会社株式評価損	—	280
特別損失合計	30	280
税金等調整前四半期純利益	5,107	10,251
法人税、住民税及び事業税	1,646	2,588
法人税等調整額	144	303
法人税等合計	1,790	2,892
四半期純利益	3,317	7,358
非支配株主に帰属する四半期純利益	226	721
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,090	6,637

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	3,317	7,358
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△956	1,030
繰延ヘッジ損益	△0	9
為替換算調整勘定	9,841	6,792
退職給付に係る調整額	78	107
持分法適用会社に対する持分相当額	3,061	2,113
その他の包括利益合計	12,024	10,053
四半期包括利益	15,341	17,412
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,983	15,980
非支配株主に係る四半期包括利益	1,358	1,431

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

当第3四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書(追加情報)(新型コロナウイルスの感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルスの感染症拡大の影響に関する仮定についての重要な変更を行っておりません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	印刷 インキ・ 機材 (日本)	印刷 インキ (アジア)	印刷 インキ (米州)	印刷 インキ (欧州)	機能性 材料	計				
売上高										
顧客との契約から生じる収益	37,903	35,088	54,529	13,696	11,372	152,590	7,258	159,849	—	159,849
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	37,903	35,088	54,529	13,696	11,372	152,590	7,258	159,849	—	159,849
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	144	904	706	64	1,826	3,336	5,163	△5,163	—
計	37,909	35,233	55,433	14,403	11,437	154,417	10,595	165,012	△5,163	159,849
セグメント利益又は 損失(△)	342	987	807	△341	1,169	2,965	258	3,224	46	3,270

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成品事業、ディスプレイサービス事業及び色彩関連機器事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額46百万円には、セグメント間取引消去624百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△578百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	印刷 インキ・ 機材 (日本)	印刷 インキ (アジア)	印刷 インキ (米州)	印刷 インキ (欧州)	機能性 材料	計				
売上高										
顧客との契約から生じる収益	38,321	37,897	58,100	14,263	12,320	160,903	7,731	168,634	—	168,634
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	38,321	37,897	58,100	14,263	12,320	160,903	7,731	168,634	—	168,634
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	120	479	460	32	1,098	3,341	4,440	△4,440	—
計	38,328	38,017	58,580	14,723	12,352	162,002	11,072	173,074	△4,440	168,634
セグメント利益又は 損失(△)	324	2,931	3,571	△496	1,404	7,735	349	8,085	439	8,525

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成品事業及びディスプレイサービス事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額439百万円には、セグメント間取引消去974百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△534百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。